

埼玉トヨペット 2026 自然体験

秩父グリーンミュージアムパーク
公園インストラクター事業

星座 鳥 菌類 両生類 スポーツ 昆虫 植物

当公園では、動植物などの専門知識を持つボランティアである「公園インストラクター」の方々の協力を得て、各種イベントを実施しています。
2026年度はこのリーフレットのイベントを開催します。どうぞ積極的にご参加下さい。

お問合せ： 電話：0494-25-1315 FAX：0494-21-1039

公園インストラクター事業 自然体験 集合場所マップ



春の星座観察会 4月25日
19:00~21:00 土
集合場所 秩父太平洋セメント音楽堂
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
雨天 中止
春の星座 金星 木星 こと座流星群

子ども昆虫探検隊 7月4日
9:00~正午 土
集合場所 昆虫の森入口
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
持ち物 虫かご・虫取り網
服装 帽子・歩きやすい服装 (林の中も歩きます)

ホタル観賞のタベ 7月4日
18:30~20:30 土
集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
持ち物 懐中電灯
雨天 小雨決行
ホタルの生態を学び、園内の沢辺に自然発生するホタルの群れの飛びの様子を観賞します。

はじめてのノルディックウォーキング 5月17日
9:30~11:30 日
集合場所 パルテノン
申し込み 事前受付 (先着20名)
費用 500円 (ポール貸出含む)
持ち物 補給水・タオルなど
※ポールは貸し出します。
服装 運動のできる服装

初夏の山野草観察会 6月6日
9:30~正午 土
集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
持ち物 ルーベ・カメラ等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
山野草に詳しい先生とお話を聞きながら園内を散策します。

ゲンジボタル 例年6月23日頃~7月8日頃
飛翔期間 最も飛ぶ時間帯は午後8時頃です！
○ホタル観賞には「光」が大敵です。
・懐中電灯は足元だけ照らしてください。
・車のライトは下向きにしてください。
○駐車はP7駐車場をご利用ください。
○路上での駐車はご遠慮ください。

講演会 8月29日
14:00~15:30 土
集合場所 秩父太平洋セメント音楽堂
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
雨天 決行
見どころ 長年に渡り秩父ミュージアムパークの蝶を観測してきた石塚先生の講演会です

定期星座観察会 毎月第2・4
秩父ミュージアムパーク後援事業
集合場所 多目的ハウス (雨天実施)
費用・受付 無料・当日受付
春夏 19:00~21:00
4月11日 4月25日 5月9日 5月23日 6月13日 6月27日 7月11日
夏は毎週 7月25日 8月1日 8月8日 8月15日 8月22日 8月29日
秋冬 18:00~20:00 9月12日 9月26日 10月10日 10月24日 11月14日 11月28日 12月12日 12月26日
2027年 1月9日 1月23日 2月13日 2月27日 3月13日 3月27日
※8・12月は、各星座観察会も参照ください

つくりながら学ぼう 8月12日
18:00~19:00 水
キットを作りながら星座を学びます。
集合場所 秩父太平洋セメント音楽堂
費用 500円 (予定)
※6月15日午前10時申し込み受付開始
定員 25組 (申し込み先着順)
特典 完成品はお持ち帰りができます。

夏の星座観察会 8月12日
19:00~21:00 水
集合場所 秩父太平洋セメント音楽堂
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
雨天 スライド上映になります。
夏の星座 ベルセウス座流星群など

きのこ観察会 9月26日
9:00~正午 土
集合場所 多目的ハウス
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・トンク・カゴなど
最後に鑑定会を行います。

ミニ門松を作ってみよう 12月13日
9:30~正午 日
集合場所 芝生広場受付 (P10)
費用 500円
※11月15日午前10時申し込み受付開始
申し込み 事前受付 (申し込み先着順50名)
雨天 決行
秩父ミュージアムパーク産の竹を使用して個性豊かなミニ門松を作成しよう。

バードウォッチング 2027 2月7日
9:00~正午 日
集合場所 百花園駐車場
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
持ち物 望遠鏡・双眼鏡・カメラ・筆記用具等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
最後に鳥合わせを行います。

秋の山野草観察会 10月3日
9:30~正午 土
集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・カメラ・筆記用具等
山野草に詳しい先生とお話を聞きながら園内を散策します。

冬の生き物観察会 12月19日
9:00~正午 土
集合場所 昆虫の森入口
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
持ち物 ルーベ・カメラ・トンク等
服装 帽子、歩きやすい服装 (林の中も歩きます)

カタクリ観察会 2027 3月27日
10:00~正午 土
集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
持ち物 ルーベ・カメラ等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
ニリンソウ・アズマイチゲ・水芭蕉等も群生しています。

はじめてのノルディックウォーキング 10月25日
9:30~11:30 日
集合場所 パルテノン
費用 500円 (ポール貸出)
申し込み 事前申し込み (先着20名)
持ち物 補給水・タオルなど
※ポールは貸し出します。
服装 運動のできる服装

parkrunに参加してみよう 毎週 7:45~9:00 土
集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付 (定員なし)
対象者 どなたでも、ベビーカーでもOK
服装 特別な道具やユニホームもいりません
持ち物 スマートフォン (parkrunID登録のため)
parkrunは無料で、ウォーキング、ジョギング、ランニング、または観覧できるイベントです。
parkrunは毎週土曜日の朝5キロ。
誰でも気軽に参加できるフレンドリーな雰囲気、どなたでもウエルカムです。

星空を眺めて宇宙を感じてみませんか

本物を見ましょう

世界最大級の望遠鏡や、人工衛星に載せた大型望遠鏡から正確で美しい映像が送られてくる時代になりました。コンピューターグラフィックスで書かれた惑星の図なども有ります。

今度は秩父ミュージックパークで、本物の木星や土星、月などを見てみましょう。思ったより木星は小さく、月のクレーターも影の長さが毎回違って来るのがわかってきます。

何か新しいことを発見できるかもしれません。

直径30cm～15cmの大望遠鏡を用意します。「星空博士」の資格を持ったおじさんたちが、星座や神話を案内します。

○天体観測会○ 毎月実施

毎月第2・第4土曜日、多目的ハウスにて、夏期は午後7時から冬期は午後6時から星座の解説をはじめます。惑星や銀河、星雲、流星など、折々の現象を解説します。

※4月はインストラクター事業にあわせて、日程場所が変更になります。インストラクター事業の予定を参照してください。

(内藤 定芳)

ホタル観賞

ゲンジボタルとヘイケボタルは幼虫の時、水中で過ごします。ホタルは世界中で2千種類位居ると言われていますが、日本では45種と言われる中で、幼虫時代水中で過ごすのは世界中でも一桁位の珍しい貴重なホタルなので、いつまでも残したいと思っています。

秩父ミュージックパーク駒沢ホタルの里では、主にゲンジボタルですが、少し上部にある田んぼの所でヘイケボタルも飛びます。ホタルが飛ぶのは、オスのホタルがメスのホタルを探して飛びますが、オス7匹に対してメス1匹と言われているように雌が少なく、また成虫になる時も雄が飛び出してから約1週間後に飛び出します。

雌は草の葉などに止まって気に入った雄が来るのを待っています。(昔は、草の中で光るのは、蛇の目が光ると言われて、草の中のホタルを取りませんでした。種を残すために旨い事をいったと思います。)

ホタルは昆虫ですので、卵、幼虫、さなぎ、成虫と姿を変えます。

この中で、皆様が見えるのは成虫の短い期間ですが、幼虫時代が長く、秩父地域で2年から5年位かけて成虫になります。同じ卵から生まれた幼虫でも成虫になるのがこのように差が生じるのは天候や災害、環境の変化などで卵が産めない状況になっても幼虫として生き残れます。

このような生態なので稲作が始まった古代の昔よりホタルの種が保たれたと思います。ここ駒沢地区のゲンジボタルは、少し下流の人家より下流に飛んでいましたが、この地区の環境を整備し、学校給食の残飯を巻く事により幼虫の餌であるカワニナの生育などによって、この地区にホタルが飛ぶようになりました。環境を壊さずにホタルを取らないで鑑賞してください。

(坂本文雄)

※2026年度、実施予定のイベントは裏面にございます。皆様のご参加をお待ちしております。

多彩な山野草の世界

ミュージックパーク及びその周辺地域では、野生植物だけでも500種類以上の植物が分布しており、植物種の多様性から見て重要なスポットである。

中でも、埼玉県、レッドデータブック植物編に記録されている植物では、アカハナフラビ、コヒロハハナヤスリ、サクライカグマ、タニヘゴ、オオカナフラビ、アズマズゲ、カタクリ、ヒメニラ、ステゴビル、シロバナエンレイソウ、イカリソウ、アズマイチゲ、



ウメガサソウ (初夏)

ネコノメソウ、マキノスミレ、アキノギンリョウソウ、キクタンギク、ウメガサソウ、アケボノスミレ、オオヤマツツジ、オオヒキヨモギ、アサマヒゴタイなどが見られる。

ツクシハギ (秋)

○ワンポイントアドバイス○ シダ類植物の場合は胞子のう群の形や付く位置、鱗粉の色や形・花弁の先が筒状になっているかなど、また、茎、花柄などの毛の有無や伏毛か又は開出毛かなども区別点として重要。

(岩田 豊太郎)

ノルディックウォーキング



クロスカントリースキーをもとにフィンランドで発表されたノルディックウォーキングは、ヨーロッパを中心に多くの人に愛好されています。2本の専用ポールを活用した全身運動で歩くことにより、



(中村 繁樹)

きのこの世界



ヤマドリダケ (初夏)

ミュージックパークはきのこの発生にはかなり良いロケーションです。南東向きの日当たりの良い斜面、マツやモミを含む雑木林、整備された遊歩道、林内も程よく手入れされてます。きのこと言えば秋がシーズンですが、梅雨明けから多種多様なきのこが発生します。迷信に惑わされることなく、図鑑と見比べ、正しく判別する

練習をしましょう。

この時期に観察できそうなきのこは、「ウラベニホテイシメジ」「チチタケ」「サクラシメジ」「マイタケ」「ナラタケ」等です。間違えやすい毒きのこを見比べてみましょう。

(田代和照)



マイタケ (秋)

小さい生き物たちの世界をみてみよう



サンショウウオの卵

パルテノンから西側斜面を下っていくと、駒沢ホタルの里があります。この周辺ではトウキョウサンショウウオやヤマアカガエルの卵やオタマジャクシが見られます。また越冬した昆虫やカタテハ、テングチョウ、コツハマなどの蝶類、トンボの幼虫(ヤゴ)を観察する事が出来ます。朽木や落葉の下を探し、子供達に大人気カブトムシなどの幼虫を見つけてみましょう。歩きやすいハイキングシューズ等でご参加下さい。(江原 繁)



トンボの幼虫 (ヤゴ)

バードウォッチングははじめませんか

○秩父ミュージックパークで観られる野鳥○ 秩父では、168種類確認されている内、ミュージックパークでは75種類確認されています。

一年中見られる留鳥、春フィリピンなど南方から繁殖に来る夏鳥。シベリアなどから越冬に来る冬鳥などに別れています。

冬は木の葉も落ちて見通しがきき、林の中にいる鳥もよく見ることが出来ます。たとえば、木の枝に止まる鳥、カワラヒワ、中程には、シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・メジロ・コゲラ(冬は小群でいる) 藪は、ウグイス・ホオジロ(留鳥)・ベニマシコ・アオジ・カヤクグリ(冬鳥) 地表では、ハクセキレイ・セグロセキレイ(留鳥)・ツグミ・シロハラ(冬鳥)などが見ることが出来ます。

いつ・どこで・何を見たかを付けておく、フィールドノートがあると良いです。ハンディ図鑑があれば早く確認できます。

○双眼鏡の選び方○ 双眼鏡があれば世界が広がります。倍率が大きいとアップで見れると思いますが視野が狭くブレが生じます。★代表的なレンズ口径は次のサイズです。20口径 折りたたむと、手のひらに収まるコンパクト旅行等のシーンで大活躍。

30口径 バードウォッチング用の双眼鏡としてもっとも人気があるのがこのサイズ大きさ・重さ・見え味のバランスが良く。初めて双眼鏡を購入する方におすすめ。

40口径 他の口径にない明るさや視界の広さを持つがかさばり、重く、使いづらいと感じるかもしれません。

おすすめは 8×30、8×32 [倍率×対物レンズの口径 (mm)] (丸山 政弘)

冬を越すチョウ

チョウたちの仲間には、成虫で冬を越すチョウがいます。ここミュージックパークでもキタキチョウ、ムラサキシジミ、ムラサキツバハメ、ウラギンシジミ、テングチョウ、アカタテハ、カタテハ、シータテハ、ヒオドシチョウ、ルリタテハの10種類のチョウが成虫で冬を越しています。その中でも、写真のキタキチョウ、テ



キタキチョウ

ングチョウは、陽当たりの良い東または、南向き斜面で、テングチョウは枯れ葉の近くで、キタキチョウは冬でも緑の残る草や生垣などの低木の葉裏で冬を越します。時には、写真のように雪の中に埋まってしまうこともあります。チョウたちは冬になると凍りにくい身体に変化するため、大丈夫なのです。これらのチョウたちが春、目覚めるのは、テングチョウが3月上旬、キタキチョウが3月下旬ころで、目覚めると直ぐに結婚相手を探し、卵を産みます。彼らの春の目覚めのタイミングは卵を産み付ける植物の萌芽に合わせているようです。(石塚 正彦)



テングチョウ